

課題1 男性版 モノローグ＋台詞

【状況設定】

あなたは同級生の田中さんに告白しようと朝のバス停に彼女が来るのを待ち伏せています。「○○○○」の部分は田中さんとの会話、
(××××)の部分は心の中の声です。

男

(あ、来た来た田中さん。よし計画通り!! 「頑張れオレ! 告白大作戦」
第72弾スタート!)

「おお田中、おはよー!

なに? 珍しいね今日バスなんだ。いつも自転車通学じゃなかったっけ。」

(ふふふ、昨日君の自転車をパンクさせたのはオレさ。

水曜の補習のあとは自転車屋さんか

閉まって直せないのも想定済み!)

「そういえば、今日文化祭の委員決めるって言ってたよね。

田中って去年やってたじゃない? 今年はどうするの。

オレ? そうだなあ、田中がやるならオレもやろっかなあ。

あ、別に変な意味じゃないよ。でも田中がやるのが一番いいと思うんだね。
だってみんなにすごく人気あるじゃん?

すごく頭いいし運動もできるし、いろんなことちゃんとしてて
みんな信頼してるし。それって

すごいと思うんだ…。

だからさ、オレも…。

ああ…!! 拓也!!…お、おはよー…。

どしたの? 早いねー。」

(もう何で肝心な時に来るんだ!? 最悪のタイミングじゃねーかよ、
むぎぎぎぎ…。)

「いやいや何でもない、バスなかなか来ないなあって。」

(はあ…また作戦失敗かあ…今度はどこかに閉じ込めるくらいしなきゃ

ダメかもな…。部屋…? トイレ…? あーもーどうしよー!!)

課題1 女性版 モノローグ＋台詞

【状況設定】

あなたは同級生の田中君に告白しようと朝のバス停に彼が来るの

を待ち伏せています。「○○○○」の部分は田中君との会話、

(×××)の部分は心の中の声です。

女 (あ、来た来た田中くん。よし計画通り!! 「頑張れわたし! 告白大作戦」

第72弾スタート!)

「あ、田中くんおはよー!

なに? 珍しいね今日バスなんだ。いつも自転車通学じゃなかったっけ。」

(ふふふ、昨日あなたの自転車をパンクさせたのは私よ。

水曜の補習のあとは自転車屋さんが

閉まってて直せないのも想定済み!)

「そういえば、今日文化祭の委員決めるって言ってたよね。

田中くん去年やってたじゃない? 今年はどうするの。

わたし? そうだなあ、田中くんがやるなら私もやろっかなあ。

あ、別に変な意味じゃないよ。

でも田中くんがやるのが一番いいと思うんだよね。

だってみんなにすごく人気あるじゃない? すごく頭いいし運動もできるし、
いろんなことちゃんとしててみんな信頼してるし。

それってすごいと思うんだ…。

だからね、私も…。

ああ…!! 由美子!!…お、おはよー…。

どしたの? 早いねー。」

(もう何で肝心な時に来るわけ!? 最悪のタイミングじゃない、むぎむぎ…。)

「いやいや何でもない、バスなかなか来ないなあって。」

(はあ…また作戦失敗かあ…)

今度はどこかに閉じ込めるくらいしなきゃダメかもね…。

部室…? トイレ…? あーもーどうしよー!!)

課題2 男女共通 朗読①

百年にも及ぶ戦乱の時代がようやく終わった。あまりにも長く続いた戦いの日々がもたらしたものはただ傷と悲しみだけであって、それと引き換えに奪われた無数の命を思えばどこにも勝者など見当たらない。砲弾の轟音も子供達の泣き叫ぶ声も聴こえない無音の世界。その寂寞たる光景に立ち尽くす人々はもはや、平和というものが何であるのかわからなくなっていた。

課題3 男女共通 朗読②

窓越しに雨音がしているのを彼女は聞くともなくぼんやりと耳にしていた。厚い雲の垂れ込めた、もう日曜日の夕方。おとといこの部屋に帰ってきてから何も食べていないことに気づいてキッチンに立ってみたけれど食欲なんて湧くはずもない。久しぶりに会えるのを楽しみにしていた週末の夜、突然告げられた別れの言葉が、くどいくらいに頭を過ぎる。あんなに楽しみにしていた自分が、なんだか馬鹿みたいに思えてきた。